

KOBE YMCA NEWS



神戸青年

No.645

2016. 7・8

July・Aug

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/井上 真二 編集人/田村 光
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479
URL http://www.kobeymca.org 印刷/わかばやし印刷

神戸YMCA
年間聖句

「平和な人には未来がある」
(詩篇37編37節)

神戸YMCA三宮会館 オープンに向けて

「神戸YMCA学院専門学校 日本語学科」

前号の専門学校ホテル学科紹介に続いて、「神戸YMCA学院専門学校 日本語学科」を紹介します。

神戸YMCAの日本語教育の歴史は古く、1950年から始まりました。1955年には日本のYMCAで最初の日本語学校を開設し、その後1983年に現在の「神戸YMCA学院専門学校日本語学科」として兵庫県に認可を受け、現在にいたります。



日本語学科余島旅行

過去には日本語学科とは別に、神戸YMCA日本語学校も併設され、長田にある西神戸ランチや学園都市ランチで日本語教育を展開した時期もありましたが、現在は、この三宮会館で日本語教育を集中して行っています。



卒業制作の発表風景

日本語学科では、海外からの留学生が主に日本の高等教育を受けるための予備教育機関として日本語教育を行ってきました。主に中国や韓国の学生が中心でした。近年は、同じ進学目的の学生であっても、より高度な知識や実践的なスキルを身につけるために大学院や専門学校を目標とする学生も多くなってきました。また、東南アジアへの日本企業進出が進む中、

日本や日系企業での就職を求める学生も増えています。

YMCAで学ぶ学生の国籍も多様化し、今では16の国と地域からの学生がYMCAで学んでいます。

また、台湾YMCAや、北京YMCA、韓国のYMCAを通して留学してきた学生も多くいます。海外のYMCAと日本語教育を通して協働していることは、大きな特長だと思います。特に台湾YMCAとの結びつきは強く、年2回の留学説明会を台湾にある5つのYMCAで行い、毎回10名前後の学生が入学してきます。台湾での説明会には、卒業生が応援に来てくれ、神戸YMCAでの経験を伝えてくれています。

日本語学科の学生は、ほとんどが海外からの留学生ですが、一部国内の定住外国人や企業から派遣されて勉強している学生も在籍をしています。さまざまな国籍や背景をもった学生が、日本語という



大学進学オリエンテーション

共通言語でつながり、やがて日本社会やそれぞれの母国で成長していきます。60年をこえる歴史の中で、多くの卒業生がYMCAの学びを通して、日本で、そして母国で日本語を活かしながら活躍しています。新しい神戸YMCA三宮会館には、このような希望に満ちたグローバルな学生が学び、交わる場所になります。

新会館 工事進行状況

YMCA部分(1-3F)の躯体工事が終わり、4F~5Fの床天井の工事にかかっています。

1F部分の天井の支柱もはずれ、外壁・内部工事も始まりつつあります。



1Fの事務所・ロビー付近

シアトルYMCA - 神戸YMCA ユースエクスチェンジを迎えて



今年、神戸YMCAとシアトルYMCAの中高校生交換プログラムは50周年を迎えました。

50周年を記念して、5月11日から18日まで、シアトルYMCAのGilbertson総主事ご夫妻をはじめ計8名の方々が来神されました。メンバーの中には、25年前に来日したWendy Bartさん、そしてご自身が16歳の時にプログラムに参加したErica Mullenさんもおられ、数十年ぶりの神戸を、そして古くからの友人との再会を果たしました。



神戸YMCAとしても初めて参加する神戸まつり「おまつりパレード」には、神戸YMCAバスケットボールクラブのメンバーやワイズメンズクラブ国際協会六甲部、また神戸・シアトル姉妹都市協会の皆さんにも参加いただき、総勢約150名の方々とともに50周年をアピールさせていただきました。

7月に神戸YMCAハンドベルクワイアのシアトル公演、8月中高校生交換プログラム、そして9月の神戸YMCAグループの現地訪問と50周年イベントが続きます。

多くの方々にお支えいただいている両YMCAの人々の繋がりに感謝します。

《来日プログラムを支えてくださったお2人の思い出》

人生にはいろいろな人との出会いがあります。この50年間の神戸YMCAとシアトルYMCAとの交流では多くのスタッフ、ボランティアが往来しました。元今井鎮雄総主事は、研修にと多くのスタッフを数か月から1年シアトルYMCAに送り、その他のスタッフをユース交換プログラムの引率者として送りました。

80年代の始めには、初めてのボランティアによる引率が始まりました。カレン・フロストとスーザン・バードさんで、スーザンは2度続けて引率者となりました。

このプログラムに参加した人たちが現在も神戸とシアトル双方の地でYMCAと深いかかわりを持ち、サポーターとなっています。また、このプログラムに関わったスタッフ、ボランティアたちの出会いと交わりはその後の人生に大きな働きを与えていることだと信じます。

山崎往夫さん(元神戸YMCA国際部主任、元富山YMCA総主事、前世界YMCA退職者連盟副会長、現神戸ポートワイズメンズクラブ)

シアトルから帰ってきてから、シアトルに戻りたいとずっと思っていました。なぜなら、シアトルにはホストファミリーとのいい思い出がなかったからです。今、海外の大学に進学するための学校に通っています。大学進学のための英語能力を身につけるため宿題もたくさん出ますし、自分の課題なども次々に見つかります。時には、気持ちが沈んでくじけそうになるけれど、周りの友だちや家族に支えられながら日々頑張っています。将来は旅行に関係する仕事に就きたいなって思ったり、いろんな国に行けるような仕事に就きたいなって思っています。

小花知絵さん(2014年度ユースエクスチェンジ参加者)

ボランティア研修会・委嘱式



5月15日に西宮市大学交流センターにて、2016年度ボランティア研修会及びリーダー委嘱式が開催されました。研修会のテーマは「体験学習」。体験をより確かなものにするために、私たちは普段どのように体験を学びに変えているのか。長尾文雄氏(フリーランス)を講師にお招きして、実際に体験しながらそのメカニズムを学びました。参加したリーダーからは「ふりかえりの大切さを学びました」、「シェアドリーダーシップが大変参考になりました。リーダー会のミーティングにも活用したい」などの感想が寄せられました。

引き続き行われた委嘱式では、井上総主事から「多様性」についてのメッセージが語られ、野外活動やキャンプを通して、これから大きな役割を果たしていくユースリーダーに、委嘱状が手渡されました。

幼稚園 園外保育

神戸YMCAちとせ幼稚園は、幼保連携型認定こども園として2年目を迎えました。2016年度は、3,4,5歳児7クラス169名の園児と2歳児未就園児クラス31名の計200名の子どもたちが元気に園生活を送っています。幼稚園では、近くの公園や山へ1年を通して園外保育に出かけます。その中で身近な自然に触れて、季節の移り変わりを感じています。子どもたちは歩いていく道中で小さな花や虫を見つけたり、山の中で木や斜面に登ったりすべったりして、すぐに「自然と仲良し!」になります。「かたつむり見つけた!」「ミミズ見つけた!」「見て〜どんぐりあったよ!」という友だちの声に「どれ〜見せて見せて!」と集まる中で会話が広がり、そこから友だち同士の関わりが広がっていきます。「すごいね」「おもしろいね」「また行きたい!」そんな気持ちが子どもたちの心をわくわくさせ、次の遊びへ繋がる力になっていきます。人の成長を木に例えると乳幼児期は根っこが育つ大切な時です。この子どもたちの興味や意欲が「根っこ」を育てていると信じています。神さまが与えて下さっている自然、命に感謝し子どもたちの賜物がいかされて過ごせることを大切に毎日を過ごしていきたいと思えます。



学童保育 西神戸学童保育クラブ



YMCA西神戸学童保育は、神戸市の西区にあるYMCA学園都市会館にあり、今年で16年目を迎えます。近隣小学校4校の子どもたちが集まり現在122名の児童の在籍となりました。子どもたちが育むもう一つの家として、宿題や荷物整理などの日々の生活や、学年や学校を超えて共に遊ぶことのできる友人との関わりを大切にしています。

5月には、今年度最初の学校代休日を迎えました。当日はあいにくの雨で室内での活動でしたが、1年生～3年生の縦割りのグループを作り、各グループで1つお店を製作しました。普段の生活では学年や学校によって時間割が異なるため、こういった機会にじっくり時間をかけて一つの遊びを共有することで子どもが見せる顔も違ってきます。ひとりひとりが出来ることを考え、グループで相談している姿や、上級生が下級生に「紙を切って」「絵を塗って」など上手く指示を出し、作業する姿を見ることができました。たくさんの笑顔の中で子どもたちが、助け合い共に楽しむことができた1日となりました。

これからも家庭や地域、小学校と力を合わせて、子どもたちが仲間と共に成長する、歩みの場としての学童保育でありたいと思えます。

感謝・寄付

新会館建築募金

(前号掲載以降～5/31現在)

岡田 佑一郎、小野 勲紘、中道 澄春、田中 義信、杉浦 眞喜子、小野 昌二・里佳、宗行 孝之介、中村 勤、大森 直実、山崎 恵、西宮ワイズメンズクラブ、吉田 昌義、相浦 和生、中尾 秀一、他匿名の方2名

「熊本地震 救援活動報告」

ご承知のとおり、熊本地震は4月14日に前震、16日に本震が熊本県を中心に大分県までを襲い多大な被害をもたらしました。

神戸YMCAは発生後直ちに熊本地震支援対策室を設置し、募金活動の実施、スタッフの現地派遣、ワークキャンプの実施等を行いました。

活動の基本コンセプトは徹底した「現地主義」です。押し付けでなく、一方的な付度でもなく、「現地からの要望に出来る限りお応えする」ことをモットーに活動しました。そのためには第一に情報が必要です。被災YMCAである熊本YMCAの情報を日本YMCA同盟で集約・発信してもらい、それに対してアクションを起こすというプロセスで以下を実施しました。

①スタッフ派遣

・小澤昌甲(4/19～22益城町)・松田康之(4/26～29益城町)
 ・吉田昌義(4/26～5/2阿蘇)・松田道子(5/3～6阿蘇)
 ・岩井義矢(5/7～10益城町)・岩本和憲(5/11～14益城町)
 ・松森正樹(5/15～18益城町)・三島浩司(5/19～22阿蘇)
 ・間勝也(5/23～28阿蘇)・松田康之(6/1～6益城町)
 ・阪田晃一(6/14～18阿蘇)・小寺隆志(6/17～20阿蘇)
 ・桜井英治(6/19～22阿蘇)

*6月20日現在

6月中は継続してスタッフ派遣を行う予定です。

②募金活動

・4月16日より募金活動を開始 累計2,197,131円(6/3現在)
 ・4月23日に派遣スタッフの報告会(神戸聖愛教会にて)の実施
 ・5月14日 震災から1ヶ月、オールジャパンで呼びかけ、神戸でも街頭募金実施

③ワークキャンプ

5月3日～5日で阿蘇キャンプおよび熊本市内で福岡YMCA主管のワークキャンプに神戸YMCAリーダー3名(山本陽太さん・西神戸リーダー、西村耀さん・中村由花さん・余島リーダー)が参加しました。6月17日～20日にも阿蘇キャンプで神戸YMCA主管のワークキャンプを実施し、神戸YMCA学院専門学校ホテル学科の今西駿都さんと中村駿介さんが参加しました。

現地のニーズは刻々と変化しており、それに合わせた支援のあり方が求められています。今後も熊本YMCAを通して支援を続けてゆきたく思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

西宮つとがわYMCA保育園

2016年5月25日(土)、西宮つとがわYMCA保育園で地域の子育て支援の一環として地域オープンプログラム～ママとベビーのきずなヨガ～を行いました。講師には、神戸学園都市を中心に家事や子育てに頑張る女性を対象にリラックスしていただけるように「美ヨガピラティス教室」などを開講しておられる後藤さおり先生をお招きしました。プログラム当日、参加者の0歳、1歳の赤ちゃんはお母さんに身体を撫でてもらったり、足指をくるくると動かしながらリンパの刺激をしてもらったりして気持ちの良い時を過ごしました。お母さんたちも出産後の骨盤矯正をしたり、子育てや家事などで溜まっている肩などのこりのほぐし方を教えていただいたりしてほっこりとした時間となりました。

また、お母さんたちが2人1組で協力して身体をほぐしていくと、ほぐしてもらっている方から、「その痛みがちょうど気持ちいい!」「肩が楽になった」などの声があがっていました。

日頃忙しいお母さんたちがホッと一息ついたり、身体をいたわったりする時を過ごしていただき、明るい表情で帰って行かれた様子に、日頃保育園を利用されている保護者の方にも保育園がホッとできる場所となり、そして更に地域の方の子育て支援の輪を広げ、多くの方々が繋がっていくことが出来るような場所になるようにしていかなばと強く感じさせていただいた一日でした。

ご参加、ご支援いただいた皆様、ありがとうございました。



定期総会報告

神戸キリスト教青年会の定期総会が5月31日(火)午後6時30分から開催されました。今年も加納町会館の建替工事にともない神戸市教育会館で開催されました。神戸東部教会・古澤啓太牧師による礼拝でのメッセージは「シャロームな未来」というメッセージに心を寄せました。2015年度事業活動、2016年度事業活動方針、監事報告、委員会活動、タイプスワークキャンプなどの報告がなされました。今年もボランティア奨励賞の発表が行われ、YMCAが多くのボランティアによって運動を広められていることを再認識する時となりました。今年度は、神戸YMCA創立130周年、三宮新会館完成など神戸YMCAにとって記念すべき年となります。この記念すべき年をみなさまと共に力強く歩んでまいりたいと思います。



チャリティゴルフ 報告



5月11日(水)に第34回神戸YMCAチャリティーゴルフ大会が千刈カンツリー倶楽部で開催されました。朝まで続いた雨も上がり、まずまずの天気のもと45名の方々にご参加いただき、交流を深めつつゴルフを満喫することができました。当日、参加できなかった方からもチャリティー協力金や物品をいただきました。収益金から諸経費を除いた約233,000円は、神戸YMCA青少年指導者養成支援金として、また一部を東日本大震災の復興支援として、また熊本地震緊急支援募金として、日本YMCA同盟を通じて捧げさせていただきます。大会での募金とは別に「熊本地震支援募金」をお願いしましたところ、38,683円のご寄付をいただきました。全額を熊本YMCAの被災地復興支援活動に捧げます。会場を提供いただきました千刈カンツリー倶楽部様からも多大な御支援、御協力を賜りました。感謝申し上げます。次回、第35回チャリティーゴルフ大会は、2016年10月頃を予定しております。

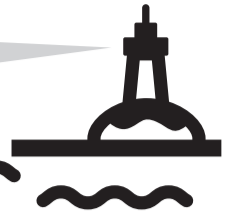
募金をいただいた方々。

石丸鐵太郎、岩田洋子、上野恭男、大江彬甫、大田靖之、大西弘一、岡本繁、長内建佑、尾上尚司、柏原佳子、桂幸生、加藤金行、国本正男、河野彰、坂口修、佐々木留奈子、芝川英美子、島田恒、清水泰人、進藤啓介、武内浩子、武田寿子、竹増操、多胡葉子、堂本将司、中尾英輔、濱浩一、広瀬一雄、福原吉孝、堀江裕一、松井隆介、万本敬一、光岡和美、村上純平、山崎祐子、山下陽子、山本克己、山本常雄、幸谷登、池田高子、遠山真琴、種岡安利、金森研次、倉本武、何早林、阪根新、東谷敏雄、安行英文、藤崎照美、吉原尚美

灯台

No.7

Light House



総主事 井上真二

「夏が来れば思い出す その2」

現在は企業の保養所になっていますが、淡路島の沼島(ぬしま)で1971年から2002年までキャンプ場の運営(2007年閉場)をしていました。駐在ディレクターの一番の心配事はキャンパーの病気や怪我だったことは昨年も書きましたが、もうひとつ頭を悩ませたのが台風でした。

キャンプ場の目の前が海というロケーションでしたので、台風直撃の場合は波しぶきが食堂兼ホールまで届かんばかりでした。当時はキャンプ場にテレビもなく、ラジオの天気予報を聞いてリーダーが天気図を書き、それを眺めながら気象を予測していました。「観天望気」という言葉を学んだのもこの頃でした。

若輩の私にとって心強い存在が当時余島キャンプ長の近江岸建助さん。台風が九州に上陸した頃に必ず電話をくださり、「この速度なら、直撃は〇日頃」「グリーンチャペルに上がって、四国側の波を見ろ。風の向きは?」「このルートなら、戻しの風の方が怖い」等々。私がお礼を言うたびに返ってくる言葉はいつも2種類。「お前のために心配してない。キャンパーのためや!」「お前のために心配してない。余島のためや!」

それから約20年が経過をし、キャンプ場の売却が決まった2007年、私は沼島キャンプ場を管理するウエルネスセンター三宮の所長でした。キャンプ閉場の過程で、長年にわたりお世話になった島の方々へのご挨拶に同行してくださったのも近江岸さんで、最後までお世話になりました。

この夏も神戸YMCAでは様々なプログラムが行われます。参加して下さる全てのメンバー、全ての人々の安全が守られ、成長の場となり、神様との出会いとなりますように願っております。

(近江岸建助さんは余島キャンプ長として長年勤められ後、西宮YMCA保育園の初代園長となられた神戸YMCA名誉主事で、2008年5月29日にご逝去されました。)

日本YMCA主事認定

岩井 義矢さん(本部事務局)

谷川 尚 さん(西宮ブランチ・西宮YMCA保育園)

お二人は5月13日日本YMCA同盟で行われた主事資格認定委員会における審査を受け、主事として認定されました。

「私が見た中国人の日本留学事情」

私は2009年10月神戸YMCA学院専門学校日本語学科に留学し、日本語を学び、2013年4月からはカレッジの職員として働き始めました。

留学する前は、北京YMCAで働いていました。2007年8月から、北京YMCAで日本留学事業を始めることになりました。私は日本語が全く分からないまま日本留学事業の仕事に携わりました。当時、日本語学校はともて人気がありました。燕京神学院の学生寮をかりて、日本語学校を始めました。学生は学校の中の宿舎に住んで、朝から夕方まで日本語を勉強していました。神戸YMCAの協力により、OSCY(日本語教師派遣)の先生方が北京YMCAにいらして、学生に日本語を教えていました。最初は2人だった学生が、やがて10数人の規模となり、日本語の基礎を学んだ学生を、日本のYMCAに順調に送り出すことができました。仕事の合間に、私も日本語を勉強し始め、少しずつ日本語がわかるようになりました。自分自身も留学生として日本に行くことになったのです。

その後、中国からの留学生数は少しずつ減少する傾向にあり、日本の各YMCAは中国の学生を確保するのに苦労しました。その上、2011年3月の東日本大震災で、学校をやめて即帰国した学生もいれば、留学するのをキャンセルする人もいました。私にも国の家族から「帰国しなさい」という連絡がありました。その結果、中国人留学生数がさらに少なくなり、また反日運動などで日中関係が悪化する中、日本留学は低迷期に陥ってしまいました。その頃は、日本から中国の学校を訪問しようとしても断られることがあったり、日本留学の仲介会社がつぶれたり、仲介手数料が異常に高くなったこともありました。一方で、中国経済が発展するにつれて、アメリカ、オーストラリア、イギリスなど欧米への留学は非常に増えました。

経済や社会の動きに影響を受けて、神戸YMCAの中国人留学生数にも様々な変動がありました。近年では田安やビザの緩和で中国観光客が増えています。そして、2015年頃から中国人留学生数も少しずつ回復してきました。しかし、留学生の性格や目的には変化が見られます。以前は大学進学を目的にしていた人がほとんどでしたが、最近でははっきりとした目的を持たない人、親に言われたから日本に来た人も増えていきます。一人っ子政策によって過保護に育てられている若者が多いこと、以前に比べ中国の大学に入学しやすくなったことなどが要因としてあげられます。

ただ、大気汚染や、就職難、教育の質と食の安全への不信心など、中国国内での問題が多く、今後も近隣の日本への留学が続くだろうと私は思います。ですので、これからも、日本で学びたいという中国の若者の手助けをしていきたいと思っています。

(神戸YMCA職員 王愛華)



全国YMCA日本語学校合同説明会(大連)

浙江師範大学での説明会

ファミリーウエルネスセンター	☎078(241)7202
YMCAホームヘルパーの事務所	☎078(241)7237
ランゲージセンター	☎078(241)7204
専門学校	☎078(241)7203
西宮YMCA	☎0798(35)5987
三田YMCA	☎079(559)0075
余島野外活動センター	☎0879(62)2241
デイキャンプ&コミュニティーサービス(兼キャンプ事務局)	☎078(241)7216
国際奉仕センター	☎078(241)7204
ウエルネスセンター学園都市	☎078(793)7401
西神戸YMCA	☎078(793)7402



Information

YMCAおひさま	☎078(793)9077
西神南YMCA	☎078(993)1560
須磨YMCA	☎078(734)0183
YMCA保育園	☎078(794)3901
西宮YMCA保育園	☎0798(35)5992
西神戸YMCA保育園	☎078(792)1011
神戸学園都市YMCAこども園	☎078(791)2955
YMCAちとせ幼稚園	☎078(732)3542
ちとせ保育ルーム	☎078(732)3542
西神戸YMCA幼稚園	☎078(997)7705
西宮つとがわYMCA保育園	☎0798(26)1016

「神戸YMCA SUMMER CAMP!」

夏休み、仲間やリーダーと一緒にキャンプへ行こう!

YMCAのキャンプは日帰りから11泊まで! 詳細はHPにて。
 “六甲山【1泊】” “里山キャンプ(三田市)【2泊】”
 “イルカキャンプ(和歌山県)【3泊】”
 “余島長期少年キャンプ(小豆島)【11泊】”
 <サマーキャンプHP>
<http://www.kobeymca.org/natsu/>

ファミリーウエルネスセンターニュース

夏がやってきました。プールに入りませんか?ファミリーウエルネスセンターのプールは広々として、透明度が抜群です。自由に泳ぐこともできますが、アクアビクスなどの水中運動や水泳の泳法指導も行っています。また、6月の第2週には水上安全プログラムにも取り組みました。お近くにいられたときには、ぜひお越しください。

宝塚Y チャリティバザー

5月とは思えない陽気に恵まれた5月21日(土)、第29回となる「宝塚YMCAチャリティバザー」が宝塚市逆瀬川にて開催されました。YMCAの会館のない宝塚ですが、多くのワイズメンやYMCAユースボランティアの力を結集させ、YMCAを知っている人、地域の人、多くの方が笑顔で触れ合える時間をつくることができました。バザーの中で「熊本地震緊急募金」も呼びかける中で、YMCAのつながりが国内や世界で困難にある人びとにまで届けられることをアピールさせていただきました。このバザー収益は熊本地震緊急支援や国際協力募金、また宝塚地域の福祉のためにさげさせていただきます。

創立130周年記念日礼拝

創立130周年記念日礼拝を、日本基督教団神戸教会にて100名の参加者とともに守ることができました。菅根先生による「原点に立ち返って」というメッセージでは、

- ・神戸YMCAの創立時代の人物や背景について
- ・人も組織も生きている限り選択の連続であるということ
- ・表面的に潤っている土地を短絡的に選択するのではなく、敢えて泉が湧き出る荒地地を選択することの大切さを力強く語っていただきました。

なお、会場にて熊本地震支援として、38,955円の募金が寄せられました。

街頭募金

5月14日(土)に全国YMCAの一斉募金活動が行われ、神戸YMCAでは元町大丸神戸店周辺の4箇所で行われました。募金総額は174,880円。奉仕者総勢51名でした。ワイズメンズクラブやユースボランティアリーダーのみなさん、高等学院や日本語学校の学生たち、野外活動メンバーと保護者にもご協力いただいたことで、奉仕者のみなさんと募金をしてくださった方々の心を寄せた結果となりました。心より感謝いたします。

第6回 憲法を知る集い

5月20日(月)神戸青少年会館にて、第6回憲法を知る集いが開かれ、27名のワイズメンズクラブ、会員、スタッフの方々が参加されました。

今回は、ゲストスピーカーとしてMBSディレクターの坪井兵亮さんにお越しいただき、「神戸の街から考える今と未来の平和」と題してこれまでの取材を基にお話しくださいました。

テレビや新聞では報道されない神戸を語っていただき、本当に多くの驚きと学びを得ることができました。日頃ニュースになっている政府の動きも、神戸と密接にあることを知ることができました。

東日本震災支援

リフレッシュファミリープログラム (5月22日実施)

テーマは「自分で情報を集めて、判断する力を身につける」。大震災で多くの苦労を強いられたお父さん、お母さんの願いです。初夏の5月は再度公園に出かけ地形図から地形を学び、コンパスで方角を定める。こうして自分がどこにいるのかを知り、仲間を導くリーダーへと成長していくことを願っています。ナビゲーションザワールド!

シアトル・神戸姉妹都市協会 協会長ベンジャミン・エリクソン氏来校

シアトル・神戸 姉妹都市協会 協会長のベンジャミン・エリクソン氏が神戸YMCAを訪問されました。

シアトルYMCAと神戸YMCAの交流事業が50周年について、来年はシアトル・神戸姉妹都市締結60周年になります。

★★ 個人消息 ★★

<ご結婚>おめでとうございます。
 YMCA保育園
 眞田李果子さん 平井正義さんと(5月4日)
 カレッジ
 中道愛子さん 村上裕亮さんと(5月14日)
 CSC須磨体育館
 本田陽人さん 稲葉由梨子さんと(5月15日)

 <お誕生>おめでとうございます!
 神戸YMCAちとせ幼稚園
 藤田侑衣さん 長女 喜和(きわ)ちゃん(4月30日)

 <ご逝去>謹んでお悔やみ申し上げます。
 西宮つとがわYMCA保育園
 渡辺唯路さん
 ご尊父 弥壽夫さま(5月16日)